

(自)平成 29 年 4 月 1 日～(至)平成 30 年 3 月 31 日

I. 事業の概況

1. 事業の経過及び成果

1. ライフステージに合わせたサービス提供

工房夢ふうせん本体改修事業

ショップと事務所を入れ替えることについて、運営会議で検討した。現実的に実施は難しく、仮に実現するのであればショップの前の外のスペースを活用することが良いのではないかという意見が出た。

利用者の重度化への対応

利用者の重度化への対応として、個々の利用者の身体状況や生活状況に合わせて、外部や内部での調整を丁寧に行った。年度の途中で、うみグループを利用していた方が車いす利用となり、風グループへ異動した。異動に伴う引継ぎを行うため、支援員及び看護師が関係機関とのカンファレンスに参加するなど安全に受入が出来るように対応した。また、就労継続 B 型のグループにいた方が、生活状況の改善が必要であったため、うみグループへ異動した。

第 2 夢のいえの整備

物件探しを行ったが、条件に合うものは出てこなかった。また積水ハウス、日野市都市計画課からも何件か情報が来ていたが、いずれも実現に至らなかった。今後積水ハウスや都市計画課と連絡を取り合っ、物件探しを引き続き行っていく。

2. 自立生活の支援～今日来て良かったと思える施設づくり～

意思決定支援に対する取組

年度末に行われた個別面談において、ご本人の意思確認におけるもっともよい方法を確認した。それらの情報を基に個々の意思決定支援の参考にしていく。

作業支援の見直しと売り上げを伸ばすための検討

売上を伸ばすための検討会を定期的に行うことはできなかった。夢ふうせんのパングループとしてどこまで出来るのか。利用者が重度化・高齢化していく中で作業量をどこまで上げていけるのか、そのようなバランスも考えながら今後の作業支援と売り上げの検討を進めていく。

職員の資質向上

年度の初めに新規 11 名の利用者の紹介を行った。強度行動障害や虐待防止・権利擁護のついての研修報告、全体で確認した方が良いケースの情報共有やヒヤリハット事例の共有などを行った。タイムリーなことをその都度情報共有するように努めた。

3. 信頼いただける施設運営

事業運営の透明性の確保

ホームページにおいて、定款、役員名簿の公開が出来ていないので、早急に対応する。利用者の活動や作業の報告、お知らせ記事を積極的に公開した。ショップゆめにおいては、地域の情報誌などを置いて情報発信に努めた。

地域公益活動

地域のボランティアと旭が丘児童館と協力して「おむすびキッチン」をスタートさせた。旭が丘児童館で学校が長期の休みの期間に昼食を食べていないお子さんが複数いるということボランティアと児童館職員とで課題として上がっていた。児童館で調理したものを子どもたちに配ることが出来ないことから、アネックスのキッチンを使って地域の主婦がお結びを作り、児童館で食べる場所を提供するという形態であれば休みの期間中に何日かお結びを提供することが出来るということになった。その日に来ている子どもも全てに提供するという形を取ったため、昼食を食べられない子どもも引き目を感じずにお結びをもらうことが出来た。

イベントの開催・参加

7月28日・29日「旭が丘中央公園夏祭り」、10月29日「夢ふうせんまつり」、12月9日「たきび祭」と今年度も地域のお祭り及び施設開催のお祭りにおいて地域の方たちとの交流を図った。また、2月10日には「ユニバーサルスポーツ交流イベント」に参加し、他の施設利用者との交流も行った。中央公園でのお祭りにおいて「夢ふうせんも来ている」という声が聞かれたように、夢ふうせんの存在が地域で認知されてきていることを感じる事が出来た。

1-2. 今後の課題

東京都重症心身障害児(者)通所事業の指定

上記事業の指定を受けることで、障害者総合支援法における給付費とは別に東京都の加算が一人当たり15,150円付くことになる。利用者の状態像と施設及び設備については条件をクリアしているが、職員の配置基準が満たされていないために指定を受けられていない。利用者5名の定員で指定を受け、収入が増えて経営の安定化を目指す。

第2夢のいえの整備

グループホームの物件探しについては積水ハウスで「建て貸方式」と日野市都市計画課による空き家活用の事業を中心として行っていく。これまでのショートステイの利用の状況や昨年度末に行った面談の中でも、第2夢のいえへの入居を希望する声が多く上がっている。物件の情報が入り次第整備を進めていく。

外販部門の独立

そらグループをAとBに分けて、Bグループにおいて外販の一部を担うことでパングループが生産に注力できるようにした。そらグループでは、これまでのじぞう宅配便や弁当配達の実績を積んできていた。そこでパングループで負担となっていた外部への販売を担ってもらうことを始めるに至った。

これに伴って販売先を広げるためにカフェ・シェーナにて販売する量を増やしていくことを検討する。その時に一緒に弁当も配達して販売することを検討している。

Ⅱ 工房夢ふうせん

1. 主要な事業内容

当法人は工房夢ふうせんが障害者総合支援法により、指定障害者福祉サービス事業の指定を受けている。工房夢ふうせんでは利用者の適性を勘案し、5つのグループ(そら、うみ、弁当、パン、カフェ・シェーナ)に編成の上、生活介護、就労継続支援B型事業として、福祉サービスを提供した。

2. 主要な事業所

工房夢ふうせん 東京都日野市旭が丘2-42-12

3. 利用者の状況(平成30年3月31日現在)

区分	グループ	男	女	合計
生活 介護	そら	12	13	25
	うみ	12	7	19
支援 B型 就労 継続	パン	3	11	14
	弁当	1	4	5
	シェーナ	1	1	2
合計		29	36	65

4. 職員の状況(平成30年3月31日現在)

職名	常勤	非常勤	職名	常勤	非常勤
施設長	1		生活支援員	13	6
副施設長	1		職業指導員	4	6
事務長	1		管理栄養士		1
サービス管理責任者	3		調理員		16
事務員	1	1	運転手		8
看護師	1				
医師		1	合計	25	39

各グループ職員配置(平成30年3月31日現在)

グループ	利用者	常勤職員	非常勤職員	常勤換算
そら	25	7	2	8.55
うみ	19	6	4	9.25
パン	14	3	4	5.34
弁当	5	1		1.0
シェーナ	2		2	1.09
合計	65	17	12	25.23

グループ職員配置ということで、支援現場での職員数を記載しています。調理員などは載せていないので、上の表とは人数が違ってきます。

5. 職員の研修状況

	研修名	参加日	参加者
1	学宣主催：新入職員研修	4月4～5日	大越・市村・西郷
2	島田摂食セミナー	5月11日	寺谷・市村・澤井・ 洲崎・福岡・蔡
3	東京都社会福祉協議会 新任職員研修	5月10～11日	大越
4	東京都社会福祉協議会 新任職員研修	5月25～26日	西郷・市村
5	増田屋介護職レストラン～みて食べて楽しむ弁当～	5月17日	鈴木
6	重度・重症児者医療療育基礎	5月30日～6月3日	河合
7	強度行動障害支援者養成フォローアップ	6月15日	片山・岡野
8	重度・重症児者医療療育基礎	6月19～23日	福田
9	ユニバーサルデザインを追求する学校	6月23日	寺谷
10	トウルーカラーズ入門講座	6月24日	寺谷
11	さをり織指導者養成講座	7月15日	清水
12	歯科治療の実践と口腔ケアの取り組み	7月21日	寺谷・上野・下川
13	摂食とミキサー食について	7月28日	大越・寺谷
14	基礎から学ぶ発達障害・知的障がい	8月5～6日	松村・澤井
15	世界のスヌーズレン	8月6日	西郷
16	ことばの育ちを支援する	8月9～10日	片山
17	東京都社会福祉協議会 中堅職員研修	8月29～30日,10月5 日,12月7日,1月13日	福岡・島村
18	医療的ケアの必要な重症心身障害者の地域生活を支える	9月1日	浅野・寺谷
19	さをり織講座	9月5日	田口
20	楽ワザ介護術	9月9日	田口
21	TECCHI 概論・ASD の特性・構造化	10月15日	清水
22	労働基準法などに関する基礎研修	10月25日	高田
23	看護スタッフ向けの精神障害の方への理解	10月28日	上野
24	チームリーダー研修	11月1～2日	小杉
25	虐待防止法について	11月21・27日	浅野・鈴木
26	知的障害者の生活支援と医療	11月22日	上野・寺谷・西郷
27	チームリーダー重点テーマ強化研修	11月29～30日	小杉
28	自閉症疑似体験と関わり方教え方の技術	11月30日,12月21日	島村・大越・西郷
29	虐待防止・権利擁護	12月4日	鈴木
30	仕事を通して職業態度を育てる・人を育てる	12月18日	笠原
31	グループホーム世話人研修会	12月20日	森田
32	重度知的障がいのある人の一人暮らしを支える	1月12日	萩原
33	行動障害に関する理解	1月18日	岡野
34	障害特性について	1月31日	佐藤・笠原・田口
35	高齢障害者の権利擁護の集い	2月2日	笠原・寺谷

36	非行・犯罪に走った知的障害者	2月15～16日	荻原
37	嚙下食・凍結含浸法	2月27日	寺谷・澤田
38	重症心身障害児の骨折予防について	3月1日	寺谷・上野
39	私たちの知らない自閉症の世界	3月10日	清水・田口

6. 職場体験受入れ

月	日	中学校名	人数	受入グループ
6	29～30	七生中学校	3	そら・うみ・風
9	14～15	日野第4中学校	2	うみ・風
9	28～29	日野第1中学校	2	うみ・そら
延べ人数			7	

7. 社会福祉士援助実習等及びボランティアの受入れ

月	日	月	日	目的	所属	人数	性別	受入グループ	
8	1	～	8	21	保育士養成	明星大学	2	女性	うみ・そら・風・パン・ 弁当
8	21	～	9	22	社会福祉士養成	東洋大学	1	女性	うみ・そら・風
11	1	～	11	17	社会福祉士養成	NHK 学園	1	男性	うみ・そら・風・パン
11	20	～	12	6	社会福祉士養成	NHK 学園	1	女性	うみ・そら・風・弁当
2	5	～	2	21	社会福祉士養成	NHK 学園	1	男性	パン
7	20	～	8	30	夏の体験ボランティア		11		うみ・そら・風
4	1	～	3	31	一般ボランティア		211	(延べ)	うみ・そら・風・パン

8. 特別支援学校実習生・見学者受入れ

月	日		月	日	学校名	学年	人数	性別
6	12	～	6	15	七生特別支援学校	高3	1	男
6	12	～	6	16	七生特別支援学校	高3	1	男
6	12	～	6	16	多摩桜の丘学園	高3	1	女
6	19	～	6	23	七生特別支援学校	高3	1	男
6	19	～	6	21	八王子東特別支援学校	高3	1	女
6	26	～	6	30	七生特別支援学校	高3	1	女
7	3	～	7	7	八王子特別支援学校	高3	1	男
7	5	～	7	6	七生特別支援学校	高2	1	女
7	10	～	7	11	七生特別支援学校	高2	2	男
7	13	～	7	14	七生特別支援学校	高2	1	女
10	3	～	10	6	七生特別支援学校	高3	1	女
10	10	～	10	13	七生特別支援学校	高3	2	男
10	10	～	10	13	多摩桜の丘学園	高3	1	女
10	17	～	10	20	七生特別支援学校	高3	1	男
10	18	～	10	20	多摩桜の丘学園	高2	1	男
10	19	～	10	20	八王子特別支援学校	高2	1	女
10	23	～	10	27	八王子特別支援学校	高3	1	男
11	6	～	11	7	七生特別支援学校	高2	1	男
12	12	～	12	14	七生特別支援学校	高3	1	男
1	25	～	1	26	七生特別支援学校	高1	1	女
2	1	～	2	2	七生特別支援学校	高1	1	女
延べ人数							23	

9. 理事会開催状況

理事会				評議員会			
回数	日程	出席者数	議題	回数	日程	出席者数	議題
1	5月19日	5名	平成28年度事業報告 平成28年度決算 平成29年度第1回評議員会の招集について 役員及び評議員の報酬等の規定変更案の同評議員会への提出について 役員と同評議員会への推薦について 運営規定の変更について	1	6月9日	6名	平成28年年度事業報告 平成28年度決算 定款変更について 役員及び評議員等の報酬等に関する規程の変更について 役員の選任について 運営規定の変更について

2	6月9日	6名	平成28年度事業報告及び 運営規定の変更について 定款変更について 役員及び評議員等の報酬等 の規定の変更について 役員の選任について 現金預金の修繕積立金及び 施設整備積立金への振替に ついて	2	11月10日	7名	平成29年度中間決算 報告事項 定款変更の認可について 定款細則の改正について 副理事長の選定について 非常勤職員の給与の一部改定 について 工房夢ふうせんアネックス利 用者送迎委託事業の見直しに ついて
3	10月27日	6名	平成29年度中間決算 定款細則の改正について 副理事長の選定について 平成29年度第2回評議員 会の招集について 工房夢ふうせんアネックス 利用者送迎委託事業の見直 しについて	3	3月9日	10名	平成29年度補正予算 平成30年度事業計画 平成30年度予算
4	2月23日	5名	平成29年度補正予算 平成30年度事業計画 平成30年度予算 平成29年度第3回評議員 会の招集について				

10. 委員会活動

防災委員会

実施内容

- ・年7回会議を実施
- ・設備点検(1回/年)
- ・落ち葉清掃(4回/年、台風等の前日)
- ・防災備品確認(2回/年 適宜補充・交換を行う)
- ・防災訓練実施(3回/年)
- ・防災無線訓練(12回/年)

会議内容

- 5月 6月防災訓練について 防災備品チェック 落ち葉点検
6月 7月防災訓練について 作業室点検について
8月 9月防災訓練について 救命救急講習について 給食委員会より
10月 9月防災訓練振り返り 台風後の状況について 救命救急講習報告

11月 12月防災訓練について 落ち葉点検
1月 12月防災訓練振り返り 給食委員会より

来年度に向けて取り組むべき課題

- ・ 備蓄品の見直し。利用者実際に食べてもらい状況を把握する。また、人数が増えたので更新分を総合警備保障に発注する。
- ・ 福祉避難所運営マニュアルの作成。
- ・ BCPの見直し。

医療的ケア検討委員会

① 平成29年4月17日(月) 指導医健診(継続)医療ケア利用者①1名対象⇒体調不良休み

有本副院長・浅野施設長・寺谷Gリーダー・看護師佐藤・上野 開始10:30~12:00 終了

◆医療ケア指示内容・体調確認・緊急連絡体制表確認・診療情報提供書個人情報取り扱いについて

相談・検討

② 平成29年5月18日(木) 指導医健診(継続)医療ケア利用者1名対象

上石Dr・浅野施設長・寺谷Gリーダー・看護師佐藤・上野 開始10:30~12:00 終了

◆主治医医療ケア指示内容確認：体調不良時の在宅酸素療法導入後の緊急対応についてご家族のご希望確認

◆新医療ケア利用者の受け入れ状況と状態報告

◆今後、在宅医療ケアが必要となる利用者の状況・ケア手技について相談

③ 平成29年8月7日(月) 医療ケア検討委員会

有本副院長・浅野施設長・寺谷サービス管理者・佐藤・上野 開始10:30~12:00 終了

◆H30年度の新規受入れについて；(新卒者、医療ケア利用者なし)

(アネックスでは、医療ケアのない通所利用予定者が2名新利用となる見込み)

H30年度から本体利用者含む全体で、90名を超える規模となる見込み

◆医療ケアに関する要綱・進め方について検討

医療ケア利用者増、年度途中から、体調変化に伴い、在籍者で新たに医療ケアが必要となった場合の事前指導医診察と通所利用再開について検討

—それぞれの利用者の事情や状態により個別に判断するが、施設で未実施の医療ケアについては、従来通りのすすめ方で受け入れを行う。

—要綱規定改定なし。医療ケア範囲等については変更せず、現行のままとする。

平成30年1月15日(月) 医療検討委員会

有本副院長・浅野施設長・寺谷サビ管・看護師 佐藤・上野 開始10:30~12:00 終了

◆感染予防対策検討・点検：支援職員(他医療ケア施設研修実施に向けて抗体価検査と予防接種)

◆H29年度の医療ケア実施状況・利用者状況

◆アネックス以外のグループの利用者状態報告/その他報告事項

◆送迎等、職員1名体制下でのけいれん発作時の救急搬送等対応手順について相談

来年度へ向けて取り組むべき課題

- ◆職員 B 型・C 型肝炎抗体価検査について、どのように位置づけるか
- ◆感染症マニュアル周知・定期感染症研修のすすめ方についてどのように取り組むか
- ◆感染症発生時、感染拡大を防ぐための対応の徹底

給食委員会

給食会議

- 5月24日：嗜好調査について。
- 7月26日：嗜好調査について。災害時の備蓄品の選定について。
- 8月28日：嗜好調査結果報告。災害時の備蓄品の選定について。
- 9月27日：災害時の備蓄品の選定について。
- 11月29日：災害時の備蓄品の選定について。
- 12月21日：災害時の知築品の選定について(多摩桜の丘学園の事例検討)。
- 1月25日：災害時の知築品の選定について(賞味期限切れ備蓄品の処分について)。
- 2月27日：災害時の知築品の選定について(賞味期限切れ備蓄品の処分について)。

来年度に向けて取り組むべき課題

- ・嗜好調査を実施して果物や野菜の嗜好のアンケートを取った。その結果を踏まえた献立としていく。
- ・防災備蓄品のローテーションについて、防災委員会とともに検討していく。

広報委員会

実施内容

- ・年間4回の通信発行
 - ・ホームページの更新
- 33号(7月1日発行)
29年度入所式、28年度決算、ボランティア紹介
- 34号(9月13日発行)
夢ふうせんまつり告知 夏祭り報告、飛火野ロータリークラブバーベキュー、おむすびキッチン紹介
- 35号(12月28日発行)
新年あいさつ、旅行・外出特集、たきび祭
- 36号(3月5日発行)
クラウドファンディング紹介、ユニバーサルスポーツ交流イベント報告、第三者評価結果報告、ご寄附御礼

来年度に向けて取り組むべき課題

- ・社会福祉法人の経営の透明性が求められているので、通信・ホームページを通じて積極的に情報を開示していく。
- ・作業や活動で必要な物品の購入の支援を後援会に依頼し、そのことをきっかけとして会員がふえるように通信・ホームページを通じてお願いしていく。

- ・職員の働く姿を取り上げて、求職者にアピールできるようにする。

11. サービス内容について

パングループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・今後の見通し・課題
製パン	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：パン製造・仕込、ラスク・スコーン等製造・販売 ・見通しと課題：製造と支援のバランスが課題。製造部と販売部の分離の必要性、現在は兼務せざるを得ない状況。
製菓	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：クッキー、ケーキ（パウンド、チーズ、チョコ等）製造・仕込 ・見通しと課題：原材料価格上昇の為価格設定の見直しが必要。バターの確保とバターを使用しないお菓子の製造。製品管理と在庫の確保。急な発注への対応。
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・販売先：日野自動車・日野高校・日社協・松が谷高校・日野市役所・第七幼稚園 ・見通しと課題：販売時の職員体制、販売ボランティアの募集。
配達	<ul style="list-style-type: none"> ・配達先：カフェ・シェーナ、石川下りサービスエリア、石川上りサービスエリア、日野第六小学校、豊田駅北口ショップわーく・わーく、カフェ・グリーン、市内学童クラブ。 ・見通しと課題：販売と重なった際の人員の確保。配達代の設定が必要。

② 行事報告

公民館まつり	5月20日（土）中央公民館にて公民館まつりに参加。製造及び製品の販売を行った。
就労継続B型宿泊旅行	8月24日（木）・25日（金）弁当G・シェーナと合同で群馬方面にて1泊旅行を実施。
スポーツレク	10月9日（月）スポーツ公園にてスポーツレクリエーションフェスティバルに参加。製造及び販売を行った。
就労継続B型忘年会	12月27日（水）弁当・シェーナと合同で八王子にて昼食・カラオケを行った。
リズム体操	毎月第1水曜日に希望者のみ参加。
東京ベルディ	東京ベルディ障害者スポーツ体験教室 毎月第2・第4火曜日に希望者のみ参加。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

- ・販売部門をそらBに引継ぎ、生産体制の充実を目指す。
- ・作業スペースの確保の為、作業室内の機材・備品の配置見直し。
- ・パングループ内で製パン・製菓と二班に分かれているが、支援員はどちらの班の活動も行える様ローテーションを組んでいく必要あり。
- ・各業務のマニュアル作成。
- ・利用者の工賃を上げていく為の取り組み。
- ・原材料の値上げに伴う商品の価格見直し。

弁当グループ

① 作業内容

作業種目	作業内容・今後の見通し・課題
配食準備 盛り付け	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者中心で準備や盛り付けをしていたが、中心を担っていた利用者が欠勤した9月からは職員が盛り付けを行う場面が必然的に増えた。 ・今後の課題は、職員が盛り付けに入った際の衛生チェックが自発的にできるためにどのように行うか。
仕込み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用と給食用の仕込みを行った。高齢者は食べやすさと見栄えの良さが重要なため、求められるスキルも異なり関われる利用者も限られてしまう事がさらに課題となるため、事前の職員の段取りも重要となる。
片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・洗い物ではきれいに洗い濯ぐことや、調理器具を正しく片づける事を重点に見守りを行ったが、一人で正しく片づけられるよう道具などの工夫を考える事が必要
室内清掃 内清掃	ほうきや、雑巾掛け・消毒、2階食堂清掃、2階トイレ清掃、靴箱の清掃等を実施。職員の見守りの目がない時に手順の変更や、不十分な点も見られる為、仕事の精度にばらつきばらつきが出ないように行う事が課題。・雑巾がけなど行うが、汚れの確認が難しいため側での見守りが必要
日野産食材 加工食堂清 掃	ひのめぐみ焼きカレーパンのフィリング作りを手掛けた。また、わーく・わーくを通じて、株式会社 MNH からの依頼で日野産いちごの加工を行い、かりんとうなどの製品化にされた。また、ルバーブと言われるハーブの栽培を手掛けるみちくさ会（女性農業者の会）より依頼を受けてジャムに加工して納めた。

② 行事報告

就労継続支援 B 型 宿泊旅行	8月24日（木）・25日（金）パン G・シェーナと合同で群馬方面にて1泊旅行を実施。
就労継続支援 B 型 忘年会	12月27日（水）パン G・弁当 G と合同で一年の振り返りの後に八王子にて外食とカラオケを行った。
映画鑑賞	地域活動支援センターやまぼとでの交流事業(映画鑑賞など)を通じて他事業所との交流を深めた。映画鑑賞後の会話も楽しめるようになってきた。
リズム体操	毎月第3水曜日に希望者のみ参加。
東京ベルディ	東京ベルディー障害者スポーツ体験教室 毎月第2・第4火曜日に希望者のみ参加。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人数が減ったことや、年齢とともにできないことが増えてきている為、作業内容を検討する必要があるが出てきた。

Café シーナ

① 作業報告

作業種目	作業内容・今後の見通し・課題
フロア接客	<ul style="list-style-type: none"> ・水出し、オーダー、配膳準備、配膳、下膳など。 ・混雑時にも正確なオーダー取り、配膳、下膳ができるように、気持ちの良い接客態度をとれるようにすること

厨房調理補助	<ul style="list-style-type: none"> ・食器洗い・調理補助。 ・職員からの指摘がなくとも確実に洗い物が行えるようにした。調理補助は、コーヒー豆挽き、カレー・ミートソースの仕込み、あん計量、薄焼き卵作り等を行った。それぞれの調理のレシピを作成し、道具の準備から片づけまで自分で確認しながら出来るようにした。
開店閉店準備	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア、厨房、トイレの清掃。 ・時間内に丁寧に出来るようにする。コーヒーコーナー、看板メニュー表、弁当、クッキーなどの準備。利用者2人の作業の速度、時間を考慮して、作業の再編成。
軽作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼろ布切り、箸入れ、ハンコ押し、箱作り。 ・利用者2人の作業の速度・時間・特性を考慮して、作業の再編成。状況に左右されず、確実にこなせるようにする。

② 行事報告

就労継続B型宿泊旅行	8月24日(木)・25日(金) パンG・シェーナと合同で群馬方面にて1泊旅行を実施。
就労継続B型忘年会	12月27日(水) パンG・弁当Gと合同で一年の振り返りの後に八王子にて外食とカラオケを行った。
リズム体操	毎月第1か第3水曜日に希望者のみ参加。
東京ベルディ	東京ベルディ障害者スポーツ体験教室 毎月第2・第4火曜日に希望者のみ参加。

③ 次年度に向けて取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の業務分担、作業量の見直し。 ・弁当グループの弁当をおいて集客を増やすようにしていく。
--

そらグループ

① 作業内容

作業種目	作業内容・今後の見通し・課題
DM	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、月4件ペースで旅行案内や学習塾案内等の案件があり、封入・封緘・宛名貼り作業を資材の材質・納期など考慮しながら職員とペアを組むか、単独で作業を提供するが、職員の配置など総合的に判断しながら作業を提供した。4月以降、利用者人数が増える為、安定して作業を提供出来るように、手順の見直しや無理の無い受注量の確保に取り組む必要があった。 ・職員個々の判断により利用者に作業をどこまで任せるか決めてしまうことがあり、統一した見解の下で支援する必要がある。
庁内業務	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも依頼件数は増え、他作業とのバランスを取りながら封入・区分け作業を行い、生涯学習課・障害福祉課・ごみゼロ推進課・財産管理課・子供家庭支援センターより受注があった。
栄太樓箱詰め	<ul style="list-style-type: none"> ・小分けの袋を箱詰めする作業は継続的に受注しているが、飴缶を箱詰めする作業は一旦途切れる事となった。 ・作業余力があることを先方へ伝えることにより新たな作業種を受注することになっ

	たが、季節商品の為、件数が増減することがあり、作業の谷間には他作業を提供する等調整を行った。
自主製品	<ul style="list-style-type: none"> ・他作業と調整をしながら無理なく、ミサンガ・ストラップ・胡桃ボタンを作成し、地域のお祭りや夢ふうせんまつりに出品した。 ・夏祭りや夢フェスなど金額的に低価格の商品も準備する必要がある。
じぞう宅配	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が交代で利用者1人と同行し、買い物と配達を行った。日により配達件数や買い物の量、新規顧配達先が入ることもあり、その際は応援職員が入り対応した。外活動の為か、宅配作業を好む利用も居り、ローテーションを組み参加して頂いた。

② 活動・行事報告

宿泊旅行	9月14, 15日 熱川方面宿泊。
外出活動	5月夕やけ小焼けカレー作り外出 1月新年会カラオケ外出 7月～8月プール活動。
外食活動	6月、8月、11月、2月にファミリーレストランを中心に外食。
リズム体操・絵画	毎月第1水曜日はリズム体操、第3水曜日はリズム体操と絵画の選択制で行った。
ゆめフェス	11月11日にTFC53を招いて、生活介護グループ(そら・風・うみ)が参加する音楽フェスを行った。TFCの方々と一緒に歌を楽しむ利用者の方もいて、それぞれ有意義な時間を過ごせた。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

<p>そら A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DM と 庁内業務作業に隙間が出来たときの活動。 ・健康づくりのための時間をどのように持っていくかを検討する。 <p>そら B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外販、じぞう配達、弁当配食を効率よく回し、タイムスケジュールを安定させる。 ・作業がない時間帯の余暇活動について検討する。

うみグループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・今後の見通し・課題
納品	<ul style="list-style-type: none"> ・月～金曜日にパン・製菓・自主製品をわーく・わーくショップへ、また、月1回川崎クリニックへの納品を行った。製品を事務所に取りに行く行程は、利用者単独で出来る様に取り組んだ。 ・外出活動時や振替休日の対応、新製品の把握等を確実に出来るよう、スケジュール等の管理を徹底させることが課題。
自主製品	<ul style="list-style-type: none"> ・マーブリングによる新選染め、バンダナ、一筆箋、メモ帳、シュシュ、名刺等の製品の作成。レジンアクセサリ製品の作成。 ・イベント等に合わせた生産調整を年間計画で組み立てて職員間で周知することが課題。
創木造園	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ折り・封入。毎月共同受注施設のすずかけの家から受け取りの連絡があり、2000～2500枚を納める。

チラシ折り	・「ショップゆめ」販促チラシ(○周年記念・ハロウィン・クリスマス・バレンタインのフェアの他、年間6回約3000部ずつ)、他職員募集チラシなど。
廃品回収	・毎週火・木ルート回収・第2金曜回転市場・毎週水八王子DM・第1水ゆいまー多摩平の森。他電話依頼により回収(数か所)。 ・回収量の少ない商店等について、毎週ではなく月1~2回にすることで余裕を持って活動時間内で回収できるように次年度は変更していく。
ポスティング	・ボランティアインフォメーション(毎月・500部)、ショップゆめチラシ及び職員募集チラシ(約3000枚)、ビルドコンサルティング(不定期)を中心に行った。
公園清掃	・万願寺中央公園・大木島自然公園・北川原公園・池掘公園の4か所を月合計7回行った。
階段清掃・利用者更衣室清掃	・毎月施設北側の階段清掃と更衣室は床の掃き掃除を中心に行ったが、適切な人員配置が出来なかった。 ・ラウンジの掃除を含めて、利用者複数名で行えるよう体制を見直す。

② 活動・行事報告

宿泊活動	9月13・14日に千葉県『かんぼの宿旭』宿泊。マザー牧場、銚子ポートタワー等見学。帰路、交通渋滞等により、到着が21時過ぎとなる。混み合うルートの利用について、また遅くなった場合の保護者の迎えに関して今後の課題とする。
ゆめフェス	11月11日にTFC53を招いて、生活介護グループ(そら・風・うみ)が参加する音楽フェスを行った。TFCの方々と一緒に歌を楽しむ利用者の方もいて、それぞれ有意義な時間を過ごせた。
外出活動	4・5・6・7・9月に外出活動を行う。7~8月にはプール活動も実施。
外食活動	4・5・6・7・8・9・11・1・2・3月に行う。主に市内のレストランをローテーションしながら、2つのグループでそれぞれに毎回楽しんだ。再調理が必要な利用者の対応を出来る職員を今後も増やす必要がある。
リズム体操・絵画	毎月第1水曜日はリズム体操、第3水曜日はリズム体操と絵画の選択制で行う。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度末にそらグループからの異動者1名、2018年度新卒利用者3名を加え、総勢23名体制となる為、昼食時の過ごし方、食堂への移動方法、外食・外出の体制の組み方等の課題あり。 ・日中作業時は、外作業に多数出ていただくことで過ごすことができるが、朝、夕全員が揃った時の個々のパーソナルスペースの確保等の環境設定が課題。
--

12. 全体行事報告

飛火野ロータリークラブ交流会	4月22日(土)飛火野ロータリークラブの皆さんによるバーベキューを味わい、交流を図った。利用者人数が増えたため、グループ単位で時間をずらしていただいた。
----------------	--

旭が丘中央公園夏祭り	7月28、29日、上の原自治会主催の夏祭りに出店。29日には利用者も祭りに参加したが、土砂降りとなってしまい、濡れながらの祭り参加となってしまった。
運動会	10月1日（日）中央大学体育館にて日野市社会福祉協議会が行った運動会に参加した。多くのボランティアに入っただき、各競技を楽しむことが出来た。 風グループは、首都大学東京の体育館をお借りして独自の運動会を行った。
夢ふうせんまつり	10月29日に社会福祉法人おおぞらのおおぞら祭りと同日開催で夢ふうせんまつりを行った。今年も夢ふうせんでどの様なことを行っているかを地域の皆さんに知っていただくことを目的として、生活介護グループの作業体験コーナー、就労継続支援B型グループの製品販売を中心として、食堂でのステージ発表や保護者によるバザー品の販売、被災地支援の物産販売やイザ・カエルキャラバンの一部のプログラムを行うなど、より多くの方に足を運んでもらえるような企画を行った。
たきび祭	12月9日旭が丘商工連合会主催のたきび祭に参加した。各グループの製品販売を行い、利用者も出店での買い物やステージ発表を楽しんだ。
ユニバーサルスポーツ交流イベント	2月10日文化スポーツ課主催のユニバーサルスポーツ交流イベントに参加した。人数の制限があったので希望者のみ参加、他の利用者は夢ふうせんで体を動かす活動を行った。

Ⅲ工房夢ふうせんアネックス

1. 主要な事業内容

工房夢ふうせんアネックスは、今年度より主たる事業所として独立。25名の定員に対して20名の現員体制であった。対象を重度心身障害者とし、主に八王子東特別支援学校の卒業生を受け入れた。

2. 主要な事業所

工房夢ふうせんアネックス 東京都日野市旭が丘2-42-3

3. 利用者の状況（平成30年3月31日現在）

区分	グループ	男	女	合計
生活介護	風	7	13	20
	合計	7	13	20

4. 職員の状況（平成30年3月31日現在）

職名	常勤	非常勤	職名	常勤	非常勤
施設長	1(兼務)		生活支援員	9	2
副施設長	1(兼務)		管理栄養士		1(兼務)
事務長	1(兼務)		調理員		3(兼務)
サービス管理責任者	1		運転手		2
事務員	1(兼務)	1(兼務)			
看護師	1	2			
医師		1	合計	15	12

各グループ職員配置（平成30年3月31日現在）

グループ	利用者	常勤職員	非常勤職員	常勤換算
風	20	9	2	10.26
合計	20	9	2	10.26

5. 風グループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・今後の見通し・課題
紙作業	古紙や牛乳パックをリサイクルし、はがき、栞、絵手紙用の注文はがきの製品化に取り組んだ。 児童館からの注文が年に数回ある。利用者も職員も慣れた作業である。アネックスに引っ越し、グループ毎の活動になり工程を分けグループで行っている。単価が安い事、売り上げも大きくは変わらず、作業内容として検討していく必要があると思われる。

アルミ缶作業	各利用者に合った補助具でアルミ缶を潰した。近隣の業者に持って行き、市より奨励費を受けている。主な収入源になっている。
--------	--

② 活動・行事報告

島田支援事業	医師、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士による専門的なアドバイスをいただいた。新利用者を中心にアドバイスを受け、支援上大変参考になった。
入浴サービス	2016年度までの利用者について本格実施した。希望者名。2017年度入所した利用者については、保護者同伴の元安全な手順を確認し、次年度以降本格実施する予定。
歯科指導	清水歯科医師来所。通所利用者全員、食後の歯磨き指導を受けた。ブラッシング指導の他、歯ブラシの見直しなどのアドバイスを頂き、保護者へ申し送りを行うことが出来た。
ゆめフェス	11月11日にTFC53を招いて、生活介護グループ(そら・風・うみ)が参加する音楽フェスを行った。TFCの方々と一緒に歌を楽しむ利用者の方もいて、それぞれ有意義な時間を過ごせた。
床屋	月1回理容師に来ていただき、希望利用者が有料で散髪した。
プール活動	七生福祉園・八王子東特別支援学校のプールを借りて行なった。
外食活動	カナンやスターバックスコーヒーを利用した。カナンにおいては再調理を依頼。適した食形態で提供してもらえた。
外出活動	市民会館で行われた七夕のイベントとコンサート及び日産労連に招待された観劇に府中の森芸術劇場に外出した。
アロマ	第3木曜日の午後、ボランティア2~3名来所。各利用者に合わせ、手や足、背中マッサージを行っている。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・入浴サービスと日中活動のバランスを取っていく。 ・利用者重度化への対応。
--

④ 第三者評価の結果

特に良いと思う点	さらなる改善が望まれる点
利用者ニーズに応え、入浴サービスを開始してサービスの充実を図っている。	個人情報保護法の趣旨に基づいた規程などの見直しをすると良い。
療育センターと連携を取り、一人ひとりの状態に応じて事業所や家庭での生活上の適切なアドバイスを受けて支援している。	重度の心身障害者の支援に応じた記録の様式を整え、さらに充実を図ることが望まれる。
地域や行政との連携の下で、夏休みと冬休みに子ども食堂「おむすびキッチン」を実施した。	マニュアルの見直しの時期を定め、改善した個人別の支援の手順をマニュアルに反映させ、実態に即したマニュアルにしていくと良い。

Ⅲ 夢のいえ

1. 主要な事業内容

平成 29 年度は 5 名の入居者が安定して生活することが出来た。またショートステイの利用は月平均 21 日であった。

2. 主要な事業所

夢のいえ 東京都日野市高幡 1001-8 久野第 2 ビル 7 階

3. 利用者の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在） 定員 5 名

男性	女性	合計
2 名	3 名	5 名

ショートステイ

稼働日数	利用日数	利用率
300 日	305 日	101.6%

4. 職員の状況

職名	常勤	非常勤
管理者(兼務)	1	
サービス管理責任者	1	
世話人		9
合計	2	9

5. 今後の課題

第 2 夢のいえの物件探し

法人全体の課題でも触れたように、第 2 夢のいえの整備を進めていく。

余暇支援について

第 2・4 土日を開所日として日中支援を行う。普段行わない自室内の清掃、片付け、散歩等近隣の散策を中心に行う。また、3 連休などを利用して入居者で楽しめる活動を企画していく。